

国語 第2学年 【じょうほう】メモをとるとき 授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書の令和6年度版年間指導計画に基づく1学期の授業案。教材本文・台詞・挿絵・問題文は転載していない。

この単元で子どもが最後にできるようになること

知らせたいことを選ぶため、経験した事柄を短い言葉でメモする。学習の記録は、経験の材料メモと、その中から選んだ伝えたいことである。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第1学年及び第2学年〕 B 書くこと(1)ア	ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕 (1)ア	ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。

単元の目標

言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（〔知識及び技能〕 (1)ア）

経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（B(1)ア）

知らせたいことを選ぶため、経験した事柄を短い言葉でメモする学習の中で、言葉への関心を持ち、自分の取り組みを見直そうとする。

評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕 (1)ア）	①「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	①知らせたいことを選ぶため、経験した事柄を短い言葉でメモする学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

単元の流れ

光村図書の年間指導計画による全3時間（書3）。総時数は公式資料に従う。各時の配分と本時の選定は、本案による授業配当の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○誰に何を伝えるかを確かめ、書く材料や最初の文を出す。 学校で経験した出来事を話し、時・場所・したこと・気付いたことを短い語で記録する。	学習状況を見て支援する。
第2次	2 （本時）	○学校で経験した出来事を話し、時・場所・したこと・気付いたことを短い語で記録する。メモから友達に内容を説明し、足りない材料を加えて伝える中心を選ぶ。	思①（発言・活動中の記録・作成物）
第3次	3	○読み手が受け取った意味を確かめ、自分の意図と違った箇所を選んで直す。残した表現にも理由をもつ。学習前後の記録を比べて、確かめたことをまとめる。	態①（学習前後の記録と見直しの理由）



本時の案

本時の目標：経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（B(1)ア）

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 （ 分）	誰に何を伝えるかを確かめ、書く材料や最初の文を出す。 ○「あとで文章にするために、どのことをメモに残しますか」 【めあて】知らせたいことを選ぶため、経験した事柄を短い言葉でメモする。 〈予想される児童の反応〉 ・全部の文を書かなくてもメモから思い出せる。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 （ 分）	○「あとで文章にするために、どのことをメモに残しますか」 学校で経験した出来事を話し、時・場所・したこと・気付いたことを短い語で記録する。メモから友達に内容を説明し、足りない材料を加えて伝える中心を選ぶ。 読み手が受け取った意味を確かめ、自分の意図と違った箇所を選んで直す。残した表現にも理由をもつ。 〈予想される児童の反応〉 ・全部の文を書かなくてもメモから思い出せる。 ・したことと気持ちを分けて残したい。	経験を口述しながら教師と短い語にする。記号や絵も使い、本人が後から内容を思い出せるか確かめる。 想定する難しさ：メモをきれいな文章にすることに集中し、必要な事柄を残せない。 評価では、経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしているかを、経験の材料メモと、その中から選んだ伝えたいことと活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎思① 経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（発言・活動中の記録・作成物）
まとめ （ 分）	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 経験の材料メモと、その中から選んだ伝えたいことを見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・したことと気持ちを分けて残したい。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態①（最初と最後の記録、見直しの理由）

板書の構造（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「あとで文章にするために、どのことをメモに残しますか」。中央は、経験の材料メモと、その中から選んだ伝えたいことに必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示

す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

つまずきやすい所と手当て

メモをきれいな文章にすることに集中し、必要な事柄を残せない。この難しさには、経験を口述しながら教師と短い語にする。記号や絵も使い、本人が後から内容を思い出せるか確かめる。評価では、経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしているかを、経験の材料メモと、その中から選んだ伝えたいことと活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

プリントの案

本時の記録

経験の材料メモと、その中から選んだ伝えたいことを残す欄を用意する。教材本文や図を複製せず、自分の言葉や印で記録する。

比べて確かめたこと

最初の考えや表現、友達からの反応、確かめた言葉、最後に選んだ考えや表現を対応させる。書く負担が大きい場合は口述や指差しも教師が記録する。

出典：光村図書 令和6年度版 年間指導計画。教材名・時期・総時数・目標の出典。年間指導計画例 Excel（2年）「2年上巻」72行目（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/1916261d-d388-44ac-af42-3aa7e13b6b11/368）／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。保存した公式原文と学年段階・項目を照合。

（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価の観点と記録の考え方。

（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)

https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

